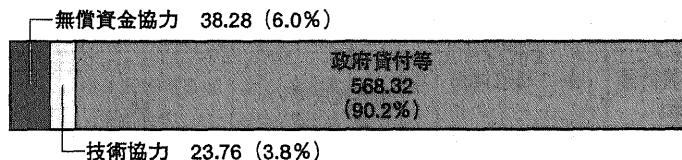


(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	34.06	697.97
	有償資金協力 (億円)	1,327.46	18,772.59
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	10.51	147.17
	研修員受入 (人)	169(新規)+12(継続)	2,964
	専門家派遣 (人)	25(新規)+15(継続)	411
	調査団派遣 (人)	95(新規)+0(継続)	1,226
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	131
	機材供与 (100万円)	87	2,268
	単独機材供与 (100万円)	0	217.44
開発調査 (件)	4	20	
プロジェクト方式技術協力 (件)	2	10	

わが国の対インドODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ボンベイ港開発計画	インド政府の要請に基づき、ボンベイ港の開発のマスタープラン(目標年次:2015年)を策定し、短期開発計画のフィージビリティ調査(目標年次:2005年)を実施する。1996年度は、実施調査の内容策定を目的として事前調査を実施し、実施細則に署名・交換するとともに、実施細則に基づき本格調査を開始して第1次現地調査を行い、着手報告書、進捗報告書を作成した。	ボンベイ港湾管理公社	(財)国際臨海開発研究センター (株)日本港湾コンサルタント
国道バイパス建設計画	主要国道が都市中心部を通過することが原因で過度の交通渋滞が起り、バイパスの建設が検討されている10都市についてプレ・フィージビリティ調査を行い、優先的に整備すべき対象3カ所を選定したうえで、おのおのについてフィージビリティ調査を実施する。1996年度は、11月に実施した事前調査(実施細則協議)を受け、インド政府より要請のあった8州11都市の国道バイパスについてプレ・フィージビリティ調査を実施し、各バイパスの基本計画を策定して、事前報告書として取りまとめた。なお、次段階のフィージビリティ調査の対象とすべき優先的の案件を選定するため、将来交通量、事業実施形態、社会環境、自然環境などの分析に特に配慮して実施した。	運輸省	日本工営(株) 八千代エンジニアリング(株)

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ニザムディン橋建設計画	テリー市公共 事業局	日本工営(株) (株)片平エンジ ニアリング	95	27.78	95.9.22		97.1 (実)
<p>国道24号線上のニザムディン橋梁は、老朽化が著しく、また1992年には一部が崩壊し、応急措置をとったが危険な状態にあるため、橋梁の架け替えを行う。</p>							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
二化性養蚕技術開発計画 (当初R/D協力期間) 91.6.1~96.5.31 (延長R/D協力期間) 96.6.1~97.3.31	88	事前調査 (コ ンタクト)	95年度までの 累 計	50	29	347,062
	89	長期調査				
	90	事前調査 (コ ンタクト)	96年度	新規	7	3
	90	長期調査				
	91	実施協議				
	91	計画打合せ				
	93	巡回指導				
	94	巡回指導				
	95	終了時評価				
(要請背景) インドでは、国内の生糸需要の伸びに対処するために、世界銀行などの融資を受けて、国家養蚕開 発プロジェクトが広範囲にわたり実施されている。このうち高品質生糸生産に必要な二化性養蚕に関 する技術については、インド国内では十分な蓄積と経験がないため、この分野での先進国であるわが 国に対し協力を要請してきた。 (目標と期待される成果) 二化性養蚕の実用技術を開発し、インドの養蚕業の振興に寄与することを目標とする。 (協力活動内容) 上記目標を達成するために、以下の分野での活動を行う。 (1) 蚕育種 (2) 蚕病防除法の開発 (3) 育蚕技術の開発 (4) 桑の育種と栽培 (5) 蚕種 製造技術の開発 (6) 製糸技術の開発						

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
タミルナド州ため池改修 計画	インド政府の要請に基づき、南インドに位置す るタミルナド州 (約13万km ² 、人口約5600万人) において、低所得層を形成する農民の生活を向上 させるため、ため池灌漑施設の改修に関するマス タープランを策定し、優先地区のフィージビリティ	タミルナド州 公共事業局	(株)パシフィック コンサルタン ツインター ナショナル (株)三祐コンサ

イ調査を実施する。1996年度は、調査対象地域であるタミルナド州内の5県において、第1次現地調査を行い、その結果に基づき、国内でマスタープランを策定し、中間報告書に取りまとめた。	ルタンツ
---	------

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
漁港浚渫船建造計画	農業省	オーバークシー ズアグロフィ ッシャリーズ コンサルタン ツ(株) (財)海外造船協 力センター				97.4 (本)	
沈泥のため漁船の入港が困難になっている小規模漁港に対し、浚渫（しゅんせつ）船を供与することにより、航路の確保および漁港の利用状況の改善を図る。							
食糧増産援助	金属鉱物資源 交易公社 (農業省下部 機関)	(財)日本国際協 力システム	96	5.00	97.1.13		96.4 (実) (95年度分)
インド政府は、これまでの開発計画において農業生産の増加と維持に特別な関心を払っており、とりわけ穀物生産については年々段階的に高い目標を設定してきた。しかし、耕地面積の増加が望めない現状にあっては、地域選択的な高収量種子の採用と化学肥料の集約的使用とを連携させ、単収を増加させる方策が必要であり、同時に研究も進められている。インド政府は、主要穀物である米、小麦の生産性向上に必要な肥料の調達について、わが国に無償資金協力を要請してきた。本案件は、上記計画の目的を達成するため農業資材の調達を図るものである。							

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
マハラシュトラ州揚水発電開発計画	マハラシュトラ州の電力需給バランスは需要が6100MWのところ供給が5100MWで（1990年）、電源構成は火力80%、水力20%となっているが、燃料供給および排煙問題により火力の増設が困難なうえ、従来型の自流水力発電地点が枯渇していることから、揚水発電の開発が望まれる。本件は、揚水発電候補地の評価とランクづけ（マスタープラン策定）および有望地点数カ所のプレ・フェイジビリティ調査、カウンターパートへの技術移転を目的とするものである。96年度は、95年度より引き続き、マスタープランで選定された3地点について現地詳細調査を行い、調査を終了し、調査3地点の地形図を作成した。	マハラシュトラ州政府灌漑局	電源開発(株) (株)バシフィック コンサルタン ツインター ナショナル (株)バスコイン ターナショナ ル

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態			専 門 家 派 遣 (人)	カ ン ター パ ー ト 受 入 (人)	機 材 供 与 (千 円)
サンジャイ・ガンジー医 科学研究所 (SGPGI) (当初R/D協力期間) 90.8.1~95.7.31 (延長R/D協力期間) 95.8.1~97.7.31	88	事前調査 実施協議 計画打合せ 終了時評価	95年度までの 累 計		67	22	247,267
	89						
	93		96年度	新規	9	3	
	94			継続	3	0	
<p>〈要請背景〉</p> <p>インド政府は、医療の量的・質的不足を改善し、医療水準を向上させるため、熟練医師・看護婦および医療研究者の育成を目的とした卒後研究施設を設置し、わが国に対して技術協力を求めてきた。</p> <p>〈目標と期待される成果〉</p> <p>(1) 第三次医療センターとしての研究機能の強化 (2) 保健科学各分野の研究機能の強化 (3) 高度医療機器に関する技術移転などを通じたインドにおけるヘルス・マンパワーの開発</p> <p>〈協力活動内容〉</p> <p>インド側がSGPGIを建設し、①第三次医療に対する技術移転を行うとともに、②卒後研修として神経科、循環器科、消化器科、泌尿器科、内分泌科、遺伝・免疫科の研究・応用に対する協力を行う。</p>							

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ポリオ撲滅計画	保健省		96	7.68	96.7.16		97.1 (実)
<p>インド政府は、ポリオ撲滅のためにポリオワクチンの全国一斉投与を計画していることから、その実施に必要なポリオワクチンやワクチンキャリアなどの投与機材を購入する。</p>							
マドラス小児病院医療機 材整備計画	タミルナド州 保健家族福祉 部	(株)第一医療施 設コンサルタ ント	96	6.67	97.6.13	96.8 (本) 96.12 (報)	
<p>インド政府は、幼児の疾病率の削減および死亡率の低下をめざしているが、患者数の増加に伴い医療サービスが低下してきている。そのため医療施設の改修と機材の調達 (総合診断機能、治療部門、検査部門機材の供与) を行う。</p>							
カラワティ・サラン国立 小児病院改善計画	家族福祉省	(株)山下設計	95	12.17	95.12.14		97.1 (実) 97.2 (実) 97.3 (実)
<p>乳児や5歳未満の小児の死亡率がきわめて高いインドの小児保健医療の改善を図るため、同国唯一の国立小児病院と、デリー周辺部のヘルスセンターの整備に必要な施設の建設と医療機材の購入を行う。</p>							